

アイデンティティ・ワークショップ

【セーフスペース:安心してワークショップに参加するために】

- ・ 団体やグループを代表するのではなく、個人としての主張を大切にする(主語は「私」を意識する)
 - ・ 傾聴の精神を持つ
 - ・ ワークショップ中はどのようなアイデンティティも尊重する
 - ・ 相手の話に同意する必要はない。ただし、尊重をする
 - ・ ここだけの話にする。ウェブなどに発信する際は、事前に許可を取る
 - ・ ワークショップ中に辛いと思ったときは、自由に退出してもよい
- *その他、自分が安心するために必要な条件があれば書き加えてもよい。

【アイデンティティについて】

- ・ アイデンティティとは自分がなにものであるかという認識
- ・ Wake Up Japan では、アイデンティティを Privilege と Rank という概念に分けて理解しています
- ・ Privilege は、他者との関係の中で感じる優劣観のうち、生まれながらに持っているものであり、多くが私たちのコントロール外にあるものです
- ・ Rank は、自らの選択、及び、他者との関係の中で、人生の中で選択し獲得したものです。
- ・ 人は社会的な生き物であり、他者との関係の中で、Privilege と Rank から他者との間に優劣観をはじめとした Power が発生します

【アイデンティティをさらに探るためのマインドマップ作り】

円の中心に自分の名前を書き、周囲に自分自身を表すうえでキーワードとなる言葉を、それが自分自身にとってポジティブであっても、ネガティブであっても、書き出してください。

質問 1「周囲に記入したキーワードの中で、そこに所属することで誇りを感じるものはどれですか？」

質問 2「周囲に記入したキーワードの中で、そこに所属することで抵抗や痛みを感じるものはどれですか？」

質問 3「あなたが所属する人種や宗教など周囲に記載したキーワードの中で、ステレオタイプと言われるもので、あなたが記載しなかったものはありますか？」

次に、「自身が社会に対して持っている視点」や「社会に対して持ちたいあり方」を別の円の中心に記載し、円の周囲にその結果として表れる行動傾向やキーワードを記載してください。

質問 1「周囲に記入したキーワードの中で、そこに所属することで誇りを感じるものはどれですか？」

質問 2「周囲に記入したキーワードの中で、そこに所属することで抵抗や痛みを感じるものはどれですか？」

質問 3「あなたが社会に対して持っている視点やあり方の中で、周囲からステレオタイプと言われるものの中で、記載しなかったものはありますか？」

【リフレクション】

- ・ このアクティビティを通じて、何か発見したこと、あなたを驚かせたことはありますか？
- ・ 2つのサークルアクティビティの中で、気持ちの感じ方やあなたの認識としてどちらがポジティブにとらえることができましたか？

【参考:アイデンティティと Negative/Positive Reaction】

ネガティブ	ポジティブ
<ul style="list-style-type: none">・ 否定・ 罪悪感・ 羞恥心・ 肩書として乱用・ ディフェンシブ(防衛反応)	<ul style="list-style-type: none">・ 自分のもんとして受容・ より学ぼうとする(なぜそうなるのか)・ 特権との関係性を変える(よし活用しよう)・ Feed Back を受ける準備に変える